

災害に強く安心して生活できるまちづくりに向けて



広島市消防局長 山崎 昌弘

平成28年4月10日、11日に開催されたG7広島外相会合は、関係機関の多大なる御協力を得て、無事終了いたしました。特に、岡山市消防局様からは、特殊災害対応隊の応援派遣もいただきました。紙面を持ちまして、皆様方に改めて御礼申し上げます。

さて、本市では、「災害に強く安心して生活できるまちづくり」に向けて様々な事業を展開しておりますが、ここでは、平成28年度の消防局の主要な事業を御紹介したいと思います。

一つめは、「(仮称)少年消防クラブひろしま交流会の開催」です。将来の地域防災の担い手を育成することを目的に、少年消防クラブ員が各種訓練やアトラクションを通じて他地域の少年消防クラブ員との親交を深めるとともに、防災意識の向上を図ります。

二つめは、「消防通信指令管制システムの更新整備」です。運用開始から13年を迎える現システムの課題を解消するとともに、他の情報システムとの連携や最新の情報通信技術を活用し、より円滑な消防活動を進めるものです。平成31年度中の運用開始を目標に、今年度は昨年度に行った基本設計を踏まえ、システム構成の決定や調達方法の検討を行います。

三つめは、「消防訓練施設の整備」です。火災件数の減少等に伴い、災害現場での活動を通じて職員が応用技術を習得できる機会が減少傾向にあるとともに、職員の大量退職によるベテラン職員の減少により、若手職員への技術指導が困難な状況になりつつあることから、災害現場と同様の環境で消火・救助等の訓練が実施できる施設を整備し、消防活動能力の向上と災害による被害の軽減を図るものです。

四つめは、「査察執行体制の充実・強化」です。昨年10月に市内中心部の繁華街において発生した飲食店火災を踏まえ、不備を有する防火対象物への指導強化、特に重大な消防法令違反、長期継続違反に対する徹底した違反処理を行うとともに、実効性のある指導を行うため職員の査察技術の向上を図ります。

この他にも、救急車内で傷病者の動画像や心電図等を医療機関に伝送することができる「救急画像伝送システムの更新に向けた検討」や「女性が活躍できる職場環境づくり」にも新たに取り組むこととしています。また、「消防団の活性化」や「救急車の適正利用の推進」なども継続的に取組を進めています。

社会情勢が変化していく中、皆様からの消防行政に対する要求も多様化しておりますが、それらを的確にとらえながら、市民の方が安全で安心して暮らせるよう、職員一丸となって尽力してまいります。